平成28年度手話研修報告

（市職員向け研修）

研修内容

- 目的
  聴覚障害のある人たちの生活がどのようなものかを理解し、簡単な手話を習得し、少しでも聴覚障害者対応ができるようになること。
- 講師
  設置手話通訳者　勝岡　めぐみさん
- 対象
  職員（福祉部職員を除く）

実施期間
平成28年9月1日～10月11日

内　容　　３回コース（講義及び実技）

1回目	・聴覚障害についての理解をする。 ・困っていること、必要な配慮を理解する。 ・身振りと手話　伝え合ってみましょう	30分
2回目	・自己紹介をしてみましょう ・家族の表し方　数の表し方 ・趣味…など ・磁気ループの説明及び体験	30分
3回目	・身近な会話 ・手話で話してみましょう	30分

内　容　１回コース（講義及び実技）

内　容	聴覚障害についての理解をする。 困っていること、必要な配慮を理解する。 ・身近な会話 ・手話で話してみましょう	60分

筆談の体験

あいさつなど簡単な手話を学習

自己紹介ができるように一人一人に名前の手話を説明

単語を体で表現して伝える

当事者との交流

当事者に伝えてみる体験

当事者も楽しんで学習しています

研修会の効果

- 市外の聴覚障害者が来庁した時に、手話で「すみません」「お待ちください」と表現してもらい嬉しかったという意見があった。
- 研修会終了時に、参加者どうしで「昨日はお世話になりました」「お疲れさまでした」と手話で会話をしている人もあった。
- 当事者が参加したことで、伝えたいという気持ちを持つことができた。
- 当事者も協力することに喜びを感じていた。
- 「日常生活で使って行かないと忘れてしまう」という声も多くありました。